

令和3年度10月全校集会（令和3年10月26日）

皆さん、おはようございます。

文化祭の練習が昨日から始まりました。

今年は、コロナの影響で体育祭が中止になってしまったので、文化祭は、生徒全員で取り組む、今年、初めての学校行事になります。そして、3年生にとっては、学生生活最後の文化祭になり、文化祭が終わると進路を決定していくための大切な時期になっていきます。

これまでコロナのせいで、なかなか行事をすることができず、皆さんの気持ちも沈みがちになっていたと思いますが、今度の文化祭は実施できそうですので、皆さんの熱い思いをひとつにし、それぞれの学年で力を合わせて、文化祭成功に向けて取り組んでほしいと思います。

そのために必要なことは、文化祭の目的にもある「自分の役割を知り、みんなで協力しながら、責任をもって役割を果たしていく」ことです。この「役割・協力・責任」を全員が常に大切し、仲間を思いやる気持ちを忘れないで取り組むことで、素晴らしい文化祭になると校長先生は信じています。

ところで、10月16日の土曜日にサッカー一部が「もうひとつの高校選手権」福岡県予選会で北九州高等学園と対戦し、3対0で勝利し、11月末に沖縄県で開催が予定されている九州予選会の福岡県代表になりました。そこで、皆さん、「看板を背負う」という言葉を知っていますか。

「看板を背負う」とは、役割と責任を自覚して振る舞うことです。サッカー一部は、今回の勝利で「福岡県代表という看板」を背負うことになります。そして、生徒の皆さんは、福岡高等学園の文化祭で、それぞれの「学年という看板」を背負うことになります。

その皆さんの「振る舞い（様子や行動）」を、多くの人が見ることになりますので、それぞれの「看板」に恥じないよう、役割と責任を果たす努力をしてください。そして、この「看板を背負う」という意識は、これからの生活においてもいろいろな場面で必要になってきますので、忘れないでほしいと思います。

最後に、校長先生も、今度こそ無事に文化祭ができることを願っています。

特に、新型コロナに「うつらない・うつさない」ための「感染防止対策」には、皆さんの協力が必要ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

これで、校長先生のお話を終わります。



右の青いユニホームは、「つくしライオンズクラブ」様から寄贈していただきました。